



## 2022年度 忠生地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2022年12月19日 (月) 18:30~20:00

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
忠生地区町内会・自治会連合会会長 高橋 清人

#### ○ 連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

#### ○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

#### ○ 職員の紹介

#### ○ 市政懇談会について

#### 第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 資源ごみ施設撤去スケジュール明確化 【環境資源部】
- 2 旧埋立地及び峠谷地区のスポーツ公園建設スケジュールの提示 【環境資源部】
- 3 高齢者の居場所づくりへの運営支援のお願い 【いきいき生活部】
- 4 小田急多摩線の早期延伸と小山田駅の早期実現 【都市づくり部】
- 5 根岸交差点の安全対策 【道路部】
- 6 境川の整備促進と根岸からさわ公園隣の調整池の溢れ防止について 【下水道部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

#### ○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 忠生地区町内会・自治会連合会会長代行 川畑 一隆

2022年度 忠生地区 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2022年12月19日(月) 18:30～20:00

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

いきいき生活部 岡林 得生

環境資源部長 野田 好章

道路部長 萩野 功一

都市づくり部長 窪田 高博

下水道部長 萩原 康義

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

忠生地区町内会・自治会連合会長 ほか30名

事務局 市民部市民協働推進課(5名)

市民部忠生市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

忠生地区町内会・自治会連合会会長

○忠生地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

## 第1部 地域の議題に関する意見交換

### 1 資源ごみ施設撤去スケジュール明確化

現在バイオエネルギーセンターはすでに稼働を開始しています。この施設を当地区に受け入れた際の条件として、ごみ処理施設の分散化をお約束いただいています。本来は新しいバイオエネルギーセンターと同時期に分散化が実現するはずでありましたが、その後新しい資源化施設の計画が遅れていることから、相原の設備は2025年、小山田の施設は2027年に延期されています。しかし現在難航が予想されている小山田の施設の建設時期は見通せない状況です。これまでも、大原則である分散化につきましては、再三町田市に確認していますが、計画に変わりはないとのご回答をいただいています。長期化している上小山田の施設の代替案の検討をお願いしていますが、いまだに明確な提示がありません。

そこで、お願いですが、現在バイオエネルギーセンター隣接地にあるビン

カン資源化施設撤去の具体的タイムスケジュールを明示していただけないでしょうか。それが本来地元にお約束いただいた“分散化”の実行です。なお、上小山田の代替案として次のような案をご検討ください。

都市計画道路3.4.40号線が小山田苗圃で止まっていますが、苗圃から東急ドライビングスクールまでを市道として建設し、その途中に資源ごみ処理施設を建設する。するとビンカンの輸送路として活用でき、また一般の交通の利便性も向上します。

## 【回答】

### 環境資源部長

3つご質問いただいたかと思えます。

1つ目は、上小山田資源化施設の代替案の進捗について

2つ目は、ビンカン資源化施設撤去の具体的タイムスケジュールを明示してほしい。

3つ目は、上小山田の代替案として都市計画道路3.4.40号線の途中に建設する案を検討してほしい。

こちらの3点について、お答えいたします。

まず1つ目の上小山田資源化施設の代替案の進捗につきましては、お配りした資料1「相原地区・上小山田地区での資源ごみ処理に関するスケジュール」をご覧ください。中段に記載がございます「上小山田地区の資源ごみ処理施設」の整備につきましては、引き続き実現に向けて進めてまいります。

しかしながら、上小山田の資源ごみ処理施設整備が遅れた場合においても、ビンカン等の資源ごみの処理が滞ることの無いよう対策を講じます。

下段の「資源ごみ処理の暫定処理」をご覧ください。2022年度は、各品目について、プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律（以下、プラ新法という）の施行など、資源ごみ処理の状況変化もふまえ、資源ごみ処理事業者等へのヒアリングを行っています。翌年度2023年度から2025年度にかけては、暫定的な処理の具体的な方策の検討及び実施の準備を進める予定です。

また、積替えやストックヤードとして活用できる用地の調査を行うことも考えております。

2つ目に、ビンカン資源化施設撤去の具体的タイムスケジュールにつきましては、お配りした資料2「忠生スポーツ公園 旧埋立地・峠谷地区整備スケジュール」の下段に記載しております、＜ビンカン資源化施設＞をご覧ください。

まず、カン解体工事の項目をご覧ください。カンの資源化施設は2025年度まで稼働し、解体工事は2026年度を予定しています。

次に、ビン解体工事の項目をご覧ください。現在のビンの資源化施設の解

体は2024年度を予定しています。しかしビンの資源化施設の機能は、現在のリサイクル広場の施設に一時的に移転し2025年度まで稼働いたします。

さらに下の<リサイクル広場>の項目のリサイクル広場解体工事をご覧ください。リサイクル広場の施設に移転したビン施設の解体は、カンの資源化施設と同じく2026年度を予定しています。

3つ目の、上小山田の代替案として都市計画道路3.4.40号線の途中に建設する案につきましては、都市計画道路3.4.40号の小山田苗圃から南多摩尾根幹線沿いの東急ドライビングスクール脇までの区間については、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）で2016年から2025年までに完了もしくは着手すべき路線である優先整備路線になっていないことから、整備時期は未定となっております。

このため、現段階では、資源ごみ処理施設の代替地案としての検討は考えておりません。

## 《質疑》なし

## 2 旧埋立地及び峠谷地区のスポーツ公園建設スケジュールの提示

今回の市議会での一般質問の中で、旧埋立地と峠谷地区のスポーツ公園化につきましては、完成時期が2032年との回答をいただきました。これから10年という非常に長い期間を提示いただいたわけですが、この目標に向かって、基本となるスケジュール計画が無ければ、絵に描いた餅で、時間はあっという間に過ぎてしまいます。逆算すれば、あるべきタイムスケジュールを作ることはそう難しいことではないと思いますので、ぜひとも提示してください。地元としては提示されたスケジュールに沿って市と共に実現に向かって協力していきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

### 【回答】

#### 環境資源部長

「旧埋立地」及び最終処分場「峠谷地区」における公園整備スケジュールにつきましては、同じく資料2「忠生スポーツ公園 旧埋立地・峠谷地区整備スケジュール」をご覧くださいながらお答えいたします。

2032年度の公園開園に向けては、「処分場」を安全に閉鎖することと、「公園」を設計・工事することの大きな2つの項目がございます。

まず、「処分場」の項目について、1段目から順にご説明いたします。

1段目「峠谷地区覆土工事」につきましては、2022年2月から開始しており、2023年2月に完了する予定です。

覆土工事完了後は、地盤が安定する期間をとる必要があります。2023年度から2028年度までの5年間を見込んでおります。その間は、地下水など周辺環境に影響がないか継続してモニタリングを行ってまいります。

「処分場」の項目3段目にあります「安全検討会」は、将来的に安全に利用できる形で最終処分場の閉鎖手続きを行うための方法を、地域の皆さまのご意見を伺いながら検討するもので、2022年度現在準備を進めており、2023年度にかけて実施する予定です。

この「安全検討会」の資料とするため、項目2段目の「地下水シミュレーション」を行い、調査結果をとりまとめます。

「安全検討会」における検討結果を踏まえ、東京都環境局多摩環境事務所などの関係機関と調整を行いながら、「安全対策工事概略設計」を2024年度、「安全対策工事詳細設計・環境調査」を2025年度に実施します。

「処分場」の項目一番下の段、「峠谷地区・旧埋立地安全対策工事」につきましては、2026年度中に着手する予定です。

次に「公園」の項目をご覧ください。

公園の基本設計・実施設計につきましては、2026年度から2028年度にかけて行います。処分場の安全対策工事と並行して行うことで、安全対策工事終了後、ただちに公園整備工事に着手できるよう進めてまいります。

そして2029年度から2031年度まで公園整備を行い、2032年度に開園する予定です。

こちらの開園までのスケジュールを進めるにあたりましては、地域の皆さまのご理解が不可欠となりますので、この度、実現に向けてご協力いただけるとのお言葉には心から感謝申し上げますとともに、引き続きよろしく願い申し上げます。

## 《質疑》

### 根岸町内会

一点教えていただきたいです。公園の安全検討会や工事設計があつて、基本設計期間を見ると2年間かかっています。基本設計は2年くらいかかるものなのですか。公園建設の実施設計は1年でできるのに、基本設計に2年要してしまうのはいかなのでしょうか。

### 環境資源部長

今いただいたご質問は、別紙2の公園の公園基本設計は26年度、27年度と2年間もかかるのかということかと思えます。

これにつきましては、市が単独で事業を進めていけば粛々淡々と実施することができますが、地元の皆様と話し合いをしながら進めていきたいと思っております。皆様がそのまま進めてもいいということであれば、期間が短く

なると思いますが、先ほども結びでお話ししたとおり皆様と話し合いながら進めていきたいという思いがあり、庁内調整の中で2年間と計画しました。設計業者の選定手続きも競争入札があったり、プレゼンテーションをさせていただいて業者を選定したりして、忠生地区の皆様のご意見を反映させるとなると丁寧に時間をかけないといけないと思います。事業を始めて「そのような計画ではだめだ」ということになって後戻りしてしまうと、先ほどお話をした2032年の開園が非常に厳しくなります。

ただし、何もなくても2年間なのかとういうとそうではなく、進められるものがあれば、期間を短くできるものがあれば期間を短くします。また、計画を進めていけば期間が長くなってしまふ事業もあると思います。そのようなことを考慮して2年間としていることをご理解いただければと思います。

#### **(司会) 地区連合会会長**

この部分のみならず、このスケジュール通りに進めていくということは、手続きの問題や環境保護の問題が出てくると思います。何とかそこをクリアして、2032年開園を忠生地区として心待ちにしたいと思います。

今後ともスケジュールの進捗状況をこのような機会でご伺いますので、迅速着実に進めていただければと思います。

#### **根岸町内会**

スケジュールのご説明いただきありがとうございました。

今木曾の調節池の工事の残土を埋め立てるというお話がありましたが、既に町田街道を通るダンプカーの数が増えています。根岸の交差点の議題にも関連してきますが、根岸の交差点をそのダンプカーがかなりの数通っています。そこは子どもの通学路となっていて、危険性がかなり高まっています。そのあたりの対応は考えていますか。

#### **環境資源部長**

今のお話にもあるように、時間帯によってはダンプカーが停車していることもあります。これにつきましては、南多摩東部建設事務所の所管になりますので、随時南東建には問い合わせをしております。今いただいたお話についても、南東建に指導をしていただくよう伝えます。また、市の職員も同じ道路を通っておりますので、気付いたものについては、事故が発生しないように南東建に防止対策をするよう伝えていきます。

#### **(司会) 地区連合会会長**

これは子どもの安全の問題になるので、南東建から状況を地元で説明して

いただけるように、また、気の緩みなく工事を進めていただけるようお願いいたします。

### 3 高齢者の居場所づくりへの運営支援のお願い

現在町田市全域で高齢化が進んでいます。町田市の中長期計画のなかで、住み続けたい町を目指す種々の方策の中、常に登場するのが、老人にとっての“居場所づくり”です。ただこの問題は、実際に民間でやろうとすると、人や場所や費用の確保が大変で、実現し永続させるのが非常に難しいのが現状です。忠生地区も例外ではありません。

コロナ禍もあり、特に団地にお住まいの高齢者がなかなか外出せず、孤立している状況があります。

小山田桜台団地では、住民の居場所を作ろうと地域団体が立ち上がりました。自治連合会やまちづくり協議会、桜美林大学その他たくさんのボランティアグループの協力により、空き店舗を利用した交流スペース「よりみち広場」が誕生しました。お年寄り向けの町トレ、お薬相談会、麻雀等々で活用されており、地域のお年寄りにとって理想的な居場所になっています。

ただ、このところのコロナ禍で活動が制約され、予定していた利用料が大幅に落ち込み、経済的に運営が難しい状況に陥っています。このようなお年寄りの居場所づくりに対して、コロナが沈静化するまでの間だけでも市から支援していただけないでしょうか。

#### 【回答】

##### いきいき生活部長

市では、高齢者が身近な場所で、介護予防や生きがい・健康づくりに取り組める環境づくりを行っています。

高齢者の方が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていくためには、高齢者を含む地域住民同士の助け合いが必要不可欠であると考えております。

市は、地域での助け合いを推進するため、一定の条件を満たしたボランティア団体等に対して、補助金交付などの支援を行っています。

その一つとして、2018年度から、高齢者が中心となって介護予防や生活支援サービスを行う団体に対して、備品・消耗品や事務所の修繕料などの立ち上げにかかる初期費用を補助しております。

忠生地区の小山田桜台団地にある、地域交流スペース「よりみち広場」も、2022年度にこの補助制度に申請いただき、補助金を交付したところです。

この補助金は、住民同士の助け合い活動であることのほか、費用面を含めた持続性を重要視しております。それらの確認を行った上で、立ち上げにか

かる初期費用の補助を行っているため、追加支援を行うことは想定しておりません。

市では、このほか、例えばゴミ捨てや電球交換など訪問による生活支援を行う団体について、活動にかかる経費に対する補助金を交付しております。

「よりみち広場」においても、同様の活動を計画されていたと伺っていますので、補助金の活用をご検討いただければと思います。

## 《質疑》

### よりみち広場運営委員

既に色々と補助をしていただいているというありがたさもあるのですが、コロナ禍の関係で家賃分を利用料、あるいはイベント参加費として収入を上げていくことが非常に厳しい状況です。そのため、支援をしていただけないかと今回議題を出しました。

今のお話の中で、生活支援があるということ伺えたのは大変ありがたいです。現在団地応援隊という緩やかな補助、住民の中で健康なお年寄りがちょっとしたできることを支援が必要な人に提供するという交流の機会を作ろうとしています。既に一部では始まりかけていますが、それに私たち「よりみち広場」も参加して、元気な老人が困っている老人を助けるという支援を住民同士が行うことを考えております。直接の家賃補助は難しいというお話をいただいてしまいましたが、住民同士の助け合いの場の拠点となります。なんとか助け合いの場を広げていきたいと思っておりますので、ご支援をお願いいたします。

### よりみち広場運営委員

地域交流センターという名前になっておりますので、必ずしも福祉マターのお話だけではありません。地域での社会教育、まちづくりの中ではセンター街の活性など、皆さんが集まる交流スペースとなります。

市も一緒に作っていただきました「小山田桜台まちづくり構想」の中では、シャッター街の商店街を作らないということがあります。福祉だけではありません。学校が終わったら子どもたちが来て、子どもの居場所にもなります。落書き黒板があったり、図書室があったりして、多世代の交流の地域交流スペースでもあります。そのため福祉からの見方だけではなくて、色々な見方をしていただきたいのです。

市は縦割り行政なので、福祉だけを見ると福祉だけの話になります。地域交流スペースというものは、社会教育であったり商店街の活性化だったりなど総合行政であると思っております。もう少し柔らかく包括的な補助制度を検討していただきたいです。

## いきいき生活部長

包括的な補助をご希望であるということでしたが、今回の補助につきましては少なくない補助が出ていると認識しております。この補助については、高齢者、高齢化というところに対して、国の補助金も使いながら支援しておりますので、使い道を勝手に広げることができないものになります。この補助金につきましては、現行通りの進め方をしたいと思います。

いただいたご意見につきましては、今後の検討材料としていきます。

## (司会) 地区連合会会長

今日お話をいただいたことは福祉のことではございましたが、今後どのように活動を維持していくのかということは切実な問題であります。全般的な問題について、私どもから行政に相談できるような場を作っただけなのかと考えております。色々な形でバックアップしていただけるようなことを総合的に考えて対処していただきたいです。

このような問題について、ご回答するのは市長しかおられないと思いますが、一言いただけないでしょうか。

## 町田市長

活動内容を何でもありとしてしまうと、実際に事業化する時に非常に難しいです。例えば、子どもが関連する事業であれば、子ども生活部の予算の何を使うかということになります。冒険遊び場のお金をこの事業に使うのは難しいです。スポーツ系統の補助金があってもそれを使おうとしてもそれも難しいですが、教育委員会の生涯学習で似たような事業を行ってれば、その予算を使うことができます。

規模の問題ではありますが、ある程度各部で行っている事業に近い事業を継続的に実施していただけるということになれば、お金を充てることができます。つまり、複数の支援制度を使うことができるようになります。人数や事業期間など事業予算を請求できるだけの実績があることで、もう一つの補助制度を利用することができるようになります。そういう活動があるならば、その実績をもって制度要求をしていただきたいです。いきいき生活部だけではないところにも要望できる内容があれば、1つの団体に2つの制度を利用することができます。

継続的に一定の規模、実績がないと申請できないので、それは実績を作っただけでいきいき生活部以外の制度を申請していただければと思います。

## (司会) 地区連合会会長

この問題は継続して検討するものだと思います。いずれにしても、相談窓

口については、市民協働推進課以外にないと思います。何とか縦割り行政を打破しようという役割を市民部市民協働推進課で担っていると思いますので、是非継続的に市民協働推進課でも相談に乗っていただけることを期待しております。

#### **市民部市民協働推進担当部長**

今市民協働推進課でというお話をいただきました。我々は縦割りという状況の中で、横との関係性を作っていく「寄り合い」を行っています。その中で色々な方策、例えばどのような補助金の制度があるのかなど、皆さんと一緒になって考えていければと思っております。連合会長がおっしゃるように、市民協働推進課が音頭をとっていきいき生活部や教育委員会などとタイアップしながら進めていきたいと思っております。

#### **4 小田急多摩線の早期延伸と小山田駅の早期実現**

唐木田～相模原間の2033年の延伸が着実に実施されるよう関係先に働きかけるようお願いいたします。また市の「小田急多摩線延伸に伴う新駅を中心とした小山田周辺まちづくり構想」の策定にもとづく具体的な周辺まちづくり計画を住民とともに早急に作成するようにお願いいたします。

#### **【回答】**

#### **都市づくり部長**

小田急多摩線の延伸につきましては、国や東京都、沿線自治体、鉄道事業者などから成る「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」におきまして、交通政策審議会の答申で示された収支採算性等の課題解決に向けて、検討を行っております。

町田市内の新駅周辺のまちづくりにつきましては、2016年3月に、新駅を中心とした小山田周辺の目指すべき将来の姿を示した、『小山田周辺まちづくり構想』を策定しております。この構想の中で、まちづくりにつきましては、鉄道延伸の取組と連動して進めていくこととしております。

今後につきましては、収支採算性と関係自治体との合意形成の課題を解決するとともに、延伸事業の動向に合わせて、地域にお住まいの方や地権者の方々と調整させていただき、計画的・段階的にまちづくりを進めてまいります。

#### **《質疑》**

#### **(司会) 地区連合会会長**

2016年に「小山田周辺まちづくり構想」ができあがってはおりますが、

もう少し周辺地域を巻き込んで将来のまちづくりにどのように活かしていけるかということがあります。もう一歩具体的に駅周辺の整備をどのように進めていくのか、住民を巻き込んだ構想づくりを進めていただきたいと思います。

## 5 根岸交差点の安全対策

根岸交差点北側都道(旧芝溝街道)について、現況幅8mを歩車道区分の12mに拡幅をするようお願いしたい。以下の理由により、引き続き東京都に働きかけをし、市も連携協力して整備をお願いしたい。

現在南側の土地区画開発竣工や新忠生市民センター開設などによって、一般車両や人の交通量の増大はもちろん、とりわけ、根岸町内から忠生小学校に通う生徒・児童も多く、この道路は南側だけガードレールがあり、去年は左折車の巻き込み防止対策を実施していただきましたが、北側は狭隘で大変危険な通学路になっています。現在老人会や子供会、町内会で下校時の見守り活動を行っていますが、抜本的な交差点改良をお願いします。

### 【回答】

#### 道路部長

5「根岸交差点の安全対策」についてお答えします。

根岸交差点から馬駟交差点までの区間の旧芝溝街道は、2011年に町田市が管理する市道忠生1248号線として道路認定をしております。

この区間の沿道には、忠生市民センターや忠生中学校、忠生小学校等の公共施設を配置しており、市としましても安全対策の必要性は認識しております。

これまでに町田市では、この道路の安全対策として、地域の皆様の要望等を受け、2020年度は、根岸交差点に向かう下り車線の内側に、視覚的に自動車の減速効果が期待できる白い破線の路面表示や、根岸交差点直近にポストコーンの設置、及び北側の区画線の引き直しを実施してきました。また、2021年度には、都道の一部にポストコーンを設置しました。

今回ご要望を頂きました歩車道区分のある12m道路に拡幅することについてですが、まず忠生市民センター交差点と馬駟交差点の区間は、道路と沿道敷地との高低差が大きいことや、側道及び隣接する敷地まで影響が及ぶこと、そして、根岸交差点から忠生市民センター交差点の区間は、沿道に家屋、駐車場等がある中で、土地所有者の協力が不可欠であること等から、実施は難しいと考えております。

今後の安全対策としましては、現地の状況を確認の上、歩道部分のカラー舗装の施工や車道境界の視認性を向上させる道路鋏、注意喚起看板等の設置

を検討してまいります。

## 《質疑》

### 根岸町内会

昨年もこの議題についてお話をしていただきました。今年についても子どもたちに危険性があると思ひ議題を出しました。

根岸交差点は、町田街道については右折専用のレーンがありますが、芝溝街道沿いには右折専用レーンがありません。信号については、右折専用信号がありません。それは町田街道も芝溝街道のどちらにもありません。例えば、芝溝街道で右折をする車があると後ろで渋滞が発生します。そうすると、信号が黄色になり赤になっても無視をして走る車がかなりあります。根岸西の信号になると右折専用の信号がありますが、どうして根岸の交差点にはそういう信号がつかないのか。横断歩道が青信号で子どもが渡っているのに、曲がろうとする車がいて危険です。

今ご説明にもあったように、根岸交差点から忠生市民センターに向かっていく左側、そこは鉾を打っていただくということですが、すごく狭くてバスが来ると歩道とぎりぎりですとても危険な状況です。小学校の校長先生にもお願いをして、子どもたちには左側を歩かないように伝えていただいています。が、わざわざ狭い歩道を通る子どももいて大変危険な状況になっています。

様々な理由で拡幅が難しいということですが、事故が起きるまで待っていないといけないのかと思います。下校時の見守りで近くに立っていると本当に危険だと思ひますので、対処していただきたいです。

### 道路部長

町田街道側に右折専用の信号がないことで、なかなか曲がれず無理に曲がる車がいて危険だということかと思ひます。信号については、最終的な権限は交通管理者である警察にあります。が、市からも右折信号の設置の可能性について警察に確認いたします。

歩道の件につきましては、条件が整えば拡幅することも可能ですが、先ほどもご説明しましたとおり土地所有者様の同意が必要になってきます。既に、歩行者の安全のために協力依頼を一昨年に行っています。なかなか施工出来る状況に至っておりませんが、地元のご要望も踏まえ、機会を見ながら少しずつ安全対策を進めてまいります。当面は道路鉾を設置するなど、安全対策について一緒に考えていきたいと思っております。

### (司会) 地区連合会会長

なかなか抜本的に解決するのが難しいというお話ですが、色々な工夫をしながら事故がないようにしていただきたいです。右折信号については、地元

からも直接警察に要望書を出す必要もあるかと思えます。それも含めて、子どもの安全のために継続的に検討をお願いします。

## 6 境川の整備促進と根岸からさわ公園隣の調整池の溢れ防止について

昨今、全国的に異常気象が頻発し、今年も各地で過去例をみない集中豪雨が発生しています。境川については、旧来の時間35ミリ対応のままに放置され、年々洪水の危険が増加しています。境川は2012年に東京都の重点整備河川に指定され、時間降雨量65ミリまで整備することに決定していますが、その後進展がありません。上流及び下流の対策待ちとのことですが、実際に大きな被害が出なければ抜本的な対策がなされないのでしょうか。境川が整備されないと隣接する調整池の機能も果たされないことになりかねず、危険な状態が続くこととなりますので、速やかな対策の実施をお願いします。

### 【回答】

#### 下水道部長

駅前通り（市道忠生1300号線）の根岸町内会館入口バス停付近の調整池が溢水することによる住宅冠水防止対策実施についてお答えします。

境川の整備促進と根岸からさわ公園隣の調整池の溢れ防止について、河川管理者である神奈川県や東京都に確認した整備状況などをお答えします。

始めに、横浜市、大和市、町田市3市の市境から下流の延長約20キロメートルの区間についてですが、時間降雨約30ミリに対応する護岸となっているため、約50ミリに対応する護岸整備を進めております。さらに、このうち約30ミリに満たない「狭窄部」が2箇所ございます。1箇所目の大和市の相鉄線と交差する付近では、境川の線形を改善するため、用地の取得を進めるとともに、兩岸の工事に着手しております。2箇所目の藤沢市の藤沢橋付近では、住宅が川に近接し拡幅が困難な状況にあるため、境川のバイパスを検討しております。

藤沢橋付近から河口までの延長約5キロメートルの区間は、時間降雨約50ミリに対応する護岸整備が済んでおります。「狭窄部」を含む下流の整備完了までには、相当の期間を要することから、水害から市民の命と暮らしを守るため、早期の治水安全度の向上が期待できる「遊水地」や「河川調節池」の整備を進めることが重要です。この「遊水地」や「河川調節池」は、どちらも川沿いにあり、川の水位が上昇した際に川の水を一時的に貯留する施設です。

次に、「遊水地」につきましては、神奈川県が進めていた、相原町の都営武蔵岡アパート付近にある「風間遊水地」の本体工事が、2022年3月に完成しました。この「風間遊水地」で貯められる量は、1.7万立法メート

ルとなります。また、1時間当たり約60ミリの雨が境川流域全体に降った場合、川の水が流れ込んでから約1時間程度、水を貯めることができます。

「河川調節池」につきましては、東京都が進めている「境川木曾東調節池」と「境川金森調節池」において、河川調節池本体の掘削工事や仮設の土留工事が予定通り行われており、どちらも2026年3月に稼働する予定です。これらの河川調節池が貯められる量は、「境川木曾東調節池」が4.9万立方メートル、「境川金森調節池」が15.1万立方メートルとなります。また、1時間当たり約65ミリの雨が境川流域全体に降った場合、川の水が流れ込んでから「境川木曾東調節池」が約1時間程度、「境川金森調節池」が約2時間程度、水を貯めることができます。

最後に、「河川調節池」の新たな整備予定として、木曾中学校付近の新中里橋近くにある旧河川敷に東京都が、貯留量約5万立方メートルの地下箱式の河川調節池を計画しており、今後詳細設計を経て工事が行われる予定です。

これらの河川整備の他に、川に流れ込む前の流域の治水対策として山根橋付近にある「根岸からさわ調整池」などがあります。具体的に「住宅地調整池」とは、宅地などに降った雨水を川に流れ込むのを遅らせるために、一時的に貯留し川の水量を抑える施設です。市では、「住宅地調整池」の機能を保つため、通常の管理として月に1回の点検やゴミなどにより貯留や排水機能が損なわれないよう清掃を行っています。さらに、台風などの大雨が予想される際には、事前の点検としてパトロールを行っています。

境川の整備促進のため、市といたしましては、今年の5月に神奈川県、6月に東京都に対して、2022年度の整備状況の確認や遊水地などを含めた早期整備を要請いたしました。今後も、神奈川県や東京都に対し、境川の整備をより迅速に進めるよう強く要請してまいります。

## 《質疑》

### 根岸町内会

からさわ公園にある調整池は、住宅地に降った雨水を貯めて境川に流すというお話ですが、10数年前に実際にその調整池があふれてしまって住宅地に水が流れてしまいました。それが改善されているのかよくわかりません。去年も8月15日に境川があふれそうな状況になりました。地元に住んでいる人たちは毎回恐怖におののいています。速やかにその恐怖を除去できるように検討していただきたいです。

山根橋から根岸橋の間については、11月から津久井治水センターが工事を始めました。この間は2年くらい前に河川改修をしたばかりです。その工事自体は調整池があふれないような工事であるのかどうか教えていただきたいです。町田市で工事内容を把握していないかもしれませんが、神奈川県が施工するなら町田市にも接しているので、神奈川県に働きかけるとかスケジ

ユールを確認するとかして情報を流していただきたいです。

また、金森や木曾東に調節池を作るということですが、これができれば根岸を流れる川の水量は減ることが予想されるのでしょうか。それができるまで根岸はずっと我慢しなければいけないのでしょうか。

### 下水道部長

2つご質問がありました。山根橋から下流の工事については、今年の7月に津久井治水センターと町田市町内会の皆様とで意見交換会を行った時に、山根橋から下流についてまだ一部50ミリ改修が残っている部分があるので着手したいという説明がありました。今ご質問があった工事がその工事なのかどうかは神奈川県に確認いたします。

調節池が完成したらどうなるのかということですが、根岸だけではなく下流の整備が進まないと、時間30ミリ程度の流れる量はなかなか変わらないので、調節池を作ることで境川全体の流下能力が上がると考えていただきたいです。東京都は管理区域が中流域にありますが、調節池を今後もいくつか作る計画があります。その完成を早期に進めていただけるよう働きかけていきたいと思います。

### 根岸町内会

回答が漏れていますが、山根橋から下流の工事をしてからさわ公園調整池があふれないようになるのかという確認をしていただきたいです。

### 下水道部長

あふれないようになるかどうかの確認については、調節池あるいは河川の整備が進むと境川の流下能力が上がるので、今よりかはあふれなくなると思っています。

境川は時間約30ミリですが、「根岸からさわ調整池」は時間60ミリの雨を貯められる施設になっています。しかし、下流の川の方に流れない状況が発生しますと、排水が滞ってしまいますので下流の流下能力を上げていただきたいことが我々の願いです。

### (司会) 地区連合会会長

抜本的な解決が難しいですが、流下能力については相鉄線、藤沢橋のところがどのようなスケジュールで進めていくのかということ、神奈川県に提示していただくようお願いしたいです。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

市政の報告については、本日資料をお配りしておりますのでそちらをご覧ください。

私からは一点、最初の議題にありました資源ごみ処理施設の撤去スケジュールについて説明をもう一度いたします。

25年という数字は、もともと2022年1月に稼働するので、それまでに資源ごみ処理施設は撤去するというお話で2011年、今から11年前に話を進め清掃工場の協議に入りました。結果として、2022年1月に清掃工場が稼働してもビンカン処理施設はまだ動いています。それで数年前に2025年までに延ばしていただきました。したがって、先ほどお配りした資料2については、25年度と26年度の間には太線を入れて目途を示す必要があります。表の下にビンカン処理施設の撤去スケジュールがあります。ビン処理施設の解体工事もカン処理施設の解体工事もここまでに撤去あるいは操業をやめることとなります。

どのようにするかというと、資料1に記載していますが、これも25年と26年の間に太線を入れないといけません。つまり、そこがリミットとなります。資源ごみの暫定処理とありますが、暫定処理方法検討・実施準備は25年度で終わることとなります。

《質疑》なし

### ○閉会の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長代行